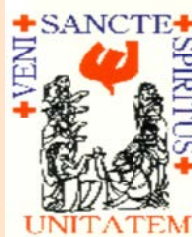


2018年1月1日 (第182号)  
 発行所 カトリック高松司教区 広報委員会  
 〒760-0074 高松市桜町1-8-9  
 TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484  
 Email  
 教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp  
 広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp  
 生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp  
 WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



# カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉  
 愛を種まきして、  
 熟するのを待つと、  
 平和という果実が  
 実ります。  
 わたしたちは愛す  
 るため  
 そして、愛される  
 ために生まれてき  
 たのです。

## 新年の平安をお祈り申し上げます



諏訪治郎司教

新年の祝いとともに、心から「世界平和の日」としてすべての人々の平安をお祈り申し上げます。

### 教会は「集い喜びの場」

私たちにキリスト者には「待つ人」という信仰のセンスが流れています。待つとは私たちの信仰の本質の姿なのです。聖霊の注ぎにおいて信仰共同体が生まれました。その後、2000年の教会の歩みは常に「改革の歴史」であり、「待つ人」としての歩みであったことがわか



2018年元旦 高松教区 司教 使徒ヨハネ 諏訪治郎

### 菊地大司教 東京教区に着座

教皇フランシスコは、東京教区のペトロ岡田武夫大司教の引退願を受け、後任のタルチオ菊地大司教(元新潟教区司教)を東京大司教に任命した。12月16日午前11時から東京カテドラルで2500人が見守る中、着座式が荘厳に執り行われた。



略歴 岩手県宮古市生まれ、1986年3月16日 司教叙階(神学修士)、西アフリカ・カ

### 八幡浜教会 創立80周年祝う

愛媛地区八幡浜教会は、11月26日(日)に使徒ヨハネ諏訪治郎司教長とドミニコ会司教長・ゴンサレス・マルチン、ロザリオの聖母管区長との共同司式による創立80周年記念ミサ・堅信式を行いました。愛媛地区各教会の参加者を含め51名が出席し、王たるキリストのミサの中で厳粛に行われ、2名の中高校生が堅信の恵みに与りました。実行委員会は、500年を遡る高松教区と八幡浜の歴史を記述した80周年記念誌、霊譜調査、聖堂建屋調査、墓地調査等を準備しました。八幡浜教会は4月から司教不在であったため、堅信は、管区長から許可されたカテキスムを管区長指名の2名のカテキストによる準備され、当日、諏訪司教様自ら、堅信準備講座を受講者、代父母、両親に行いま



参列者全員で司教を囲み記念の集合写真

### 高松教区辞令

12月10日、カトリック高松教区、使徒ヨハネ諏訪治郎司教は、宇和島教会・八幡浜教会の担当司教不在、また今治教会・西条教会の担当司教不在に對処するために、本年の復活祭までの暫定的措置として担当司教代行人事を左記の通り発表しました。

- ・宇和島教会・八幡浜教会 担当司教代行 ヨセフ・ゴ・ヴァン・ティン神父
- ・今治教会・西条教会 担当司教代行 村上康助神父

12月18日着任

### 社会と共に歩む教会を目指す

ドミニコ修道会のご支援のもと、高松教区が建築主体となり、土地、建築資金をはじめ建築委員会への指導など、ご尽力を賜りました。また、設備や備品の整備、ステンドグラスの修復設置、献堂式等についても、各方面の方々のご協力と多くの信徒の皆様との祈りと犠牲、ご奉仕の賜物と心から感謝いたしております。教会の門に「私の家は全ての民の祈りの家」(マルコ1:17)と刻まれ、教会文庫の壁面に掲げられた十字架には、「Maria Piar」(柱の聖母)の文字が添えられています。そして聖堂の左右には「エマオへの道での出現」(ルカ24:13-35)など8面のステンドグラスが再生され、主の復活が告げられています。



写真中央より左部分が教会、右側が幼稚園

### 今治教会 200人集い喜びの献堂式

11月23日、竣工した今治教会にて諏訪司教司式の下、教区司教、助祭、シスター、各教会の皆様、建築関係の方々をはじめ、200人が参列して感謝と喜びのうちに献堂式が執り行われました。創立91年、初代聖堂献堂から84年となる歩みの中で、4代目聖堂の献堂式となりました。耐震化された新聖堂建築の基本的なコンセプトを教会と幼稚園が同じ幼稚園の十字架の下で、「現代社会に開かれた明るい教会づくり」と「園児の安全を守る」として、同じ場所に、別棟での建築を目指したことが共に励んで参ります。

### はばたき

初春のお慶びを申し上げます。昨年、私たちは小グループで、現教皇の使徒的勅告「福音の喜び」を読み、分ち合いました。「キリストにおいて神の愛に出会ったかぎり、すべての信者は宣教師です」(120)とあるように、全編が宣教師に関する書だと言ってもいいと思います。教皇様は教会が「開かれた教会」となり、信徒がみな宣教師となることを求めておられます。「多くの人々が、イエスの友情がもたらす力、光、慰めを得られず、また自分を迎えてくれる信仰共同体もなく、人生の意味や目的を見出せずに生きています。外には大勢の飢えた人がいます。イエスは憐れむことなく、たえず教えておられるのです。『あなたがたが食物を与えなさい』」(マル6:37、49)「福音の喜び」に呼応するかのよう、昨年、高松教区は福音マーケットを行い、社会に向けての新しい福音宣教のあり方を探りました。司教様は「小さくてもやってみましょう。福音を伝えるのに用意は要りません。ありのままでもいい、人々と交わる中で主をいたいただき、社会の中に福音の喜びをもたらすために出向いて行きましょう」と言われます。

### 長女が終生誓願式 皆様に感謝

最後に、皆様に主の平和がありますように祈念し、また再会できる日を楽しみにしております。福山教会 尾島 巖

### 高見大司教、浜口司教を囲んで喜びの1枚

佐賀県との県境にある長崎県小長井町の「けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会」に長女の舞がシスター志願者として入門して、早いもので約10年が経ちました。そして11月21日(火)終生誓願式の日を迎えました。当日は、幸いにも天候に恵まれ、この式のために北は北海道、南は長崎県、海外ではフィリピンより、舞や家内ゆかりの方々や遠路はるばる約50名来て頂き、にぎやかで晴れ晴れしい誓願式となりました。その中でも特に高松市の桜町教会の皆様には大勢お越しいただきありがとうございます。10時30分、高見大司教様司式、浜口司教様他10名ほどの共同司式ミサでの誓願式が始まりました。舞の終生誓願が受け入れられ、ミサが終了したのが12時に近かったと思っております。小生、恥ずかしながらミサ中は終始緊張しておりました。また時々感極まったりして時間の経過がまったくわからない状態でした。しかしながら前の席に座っていた舞は大変落ち着いており、その成長を感じました。式のお祝いパーティーが開かれ、たくさんのおいしい手作りのご馳走も用意していただき、西村修道会長様、シスターの皆様には家内共々ともども大変感謝いたしております。また、シスターたちの柔らかな雰囲気の中、舞を10年間育てていただいたことに改めて深



高見大司教、浜口司教を囲んで喜びの1枚



◇愛媛地区◇

司教書簡「社会と共に歩む教会に向けて」の実践報告を聞き、話し合う「愛媛地区教区民の集い」が11月5日(日) 道後教会で行われた。集いには諏訪司教をはじめ、県内から司祭、修道者、シスター、信徒ら114人が出席。新しい福音宣教のあり方を話し合った。



“自分たちらしいやりかた”で 信徒の福音宣教の実践報告

うは議題を出して分かち合うてほしいと述べた。 続いて『社会と共に歩む教会に向けて』県内七つの小教区の取り組みの発表があった。中でも城和雄さんの『福音宣教―道後教会のチャレンジ』の発表が注目を集めた。司祭の減少の中で、多忙な司祭を補佐して信徒が福音宣教委員会をつくり、キリスト教入門講座を担当。日曜ミサに来訪した求道者を講座に誘って受洗にまで導き、受洗者が増えたという実りを語った。

このことはカトリック新聞でも紹介された。午後からは12グループに分かれて発表に対する感想など分かち合いが行われた。高齡化の問題や外国人信徒との交流など出席者の思いや共感が和やかな中で語られた。



和やかに分かち合い

最後に地区司教司牧評議会の坂本喜久夫議長の話があり集いを終えた。

社会と共に歩む教会目指し

◇高知地区◇



説明を聞きながらエクササイズに取り組む

高知地区では、10月15日(日)に、中島町教会で「教区民の集い」が行われました。9時半からのミサに引き続き、60名弱が7つのグループに分かれて、テー

マの「福音マーケット」について分かち合いを行い、その後、昼食をはさみ、各グループがまとめた発表の後、司教様から講評をいただきました。また、昼食後は、フリビートの皆さんの歌や踊りで楽しいひと時を過ごしました。当日は、司教様の提案により、信仰の喜びの分かち合いのために、(質問1)あなたにとって、信仰の喜びをどこに見出していますか。(質問2)あなたの信

ぶることができる。 ・奉仕活動、相談相手等での神の価値観(愛)を伝えることができる。 ・人との交わりで受ける感動や苦悩を感謝や許しへとみこほを伝えること。 ・祈りつつ、笑顔、思いや

・同じ信仰、祈り、聖書、秘跡を持つ友がいる共同体はずばらしい。 ・わたしにとって新しいチャレンジ・心の成長に向かえることば喜びです。 ・ミサと祈りを通して多く

の人と交わる喜びがある。 ・周りの人に声をかけ教会に来てもらい、御言葉にふれてもらう。 ・信仰について話をし、教会へお誘いすることができ

・弱立場の人にやさしく接し、手助けをすることが出来る。 ・福音マーケットを用いて分かち合いを行いました。 ・初めは、仕事や学校のマ

・福音マーケットを用いて分かち合いを行いました。 ・初めは、仕事や学校のマ

・福音マーケットを用いて分かち合いを行いました。 ・初めは、仕事や学校のマ

・福音マーケットを用いて分かち合いを行いました。 ・初めは、仕事や学校のマ

◆青年たちの福音マーケット感想◆

11月25日から26日(日) 11月25日から26日(日) 11月25日から26日(日)

11月25日から26日(日) 11月25日から26日(日) 11月25日から26日(日)

11月25日から26日(日) 11月25日から26日(日) 11月25日から26日(日)

日曜はプラスの日

日曜日は、仕事や学校のマ

日曜日は、仕事や学校のマ

日曜日は、仕事や学校のマ

多かった心の悩み

多かったです。今回は、居心地の良さ、居場所、価値を与えてくれるという意見が多いのが特色でした。

多かったです。今回は、居心地の良さ、居場所、価値を与えてくれるという意見が多いのが特色でした。

多かったです。今回は、居心地の良さ、居場所、価値を与えてくれるという意見が多いのが特色でした。

仲間と会えた喜び

今回は、福音マーケットで若者が困っていることと教会があることの良い点について分かち合いました。

今回は、福音マーケットで若者が困っていることと教会があることの良い点について分かち合いました。

今回は、福音マーケットで若者が困っていることと教会があることの良い点について分かち合いました。

自分を深められた

2回目の福音マーケットでしたが、1回目には比べられないような意見も出て、前回より自分の考えを深めることができたと思います。

2回目の福音マーケットでしたが、1回目には比べられないような意見も出て、前回より自分の考えを深めることができたと思います。

2回目の福音マーケットでしたが、1回目には比べられないような意見も出て、前回より自分の考えを深めることができたと思います。

教会の良さ見つけ

日常生活の中で抱える多くの悩みと「教会がもつ良さ」をそれぞれの付箋に書いて、普段生活している一瞬ごとにそれぞれが交互に現れると気付いた。

日常生活の中で抱える多くの悩みと「教会がもつ良さ」をそれぞれの付箋に書いて、普段生活している一瞬ごとにそれぞれが交互に現れると気付いた。

日常生活の中で抱える多くの悩みと「教会がもつ良さ」をそれぞれの付箋に書いて、普段生活している一瞬ごとにそれぞれが交互に現れると気付いた。



和気あいあいの中で付箋に書き込む青年たち

教会に行っている間だけ、心の平和が保たれるが、平日の職場や学校とまた悩みが復活してしまうという意見も出ました。そこで、私たちは教会で悩みを人生の先輩であるみなさんと分かち合い、みなさんも教会の中で青年たちを見かけたら積極的に悩みを聞いてくださったらいいと思います。



# 「福音マーケット」を考える ～香川・徳島でも教区民の集い～

## ◇西讃ブロック◇

西讃ブロック地区評議委員会委員長 藤田美緒  
西讃ブロック地区評議委員会委員長 藤田美緒  
西讃ブロック地区評議委員会委員長 藤田美緒

ベトナム語のグループの青年達からは、皆さんの暖かい対応に感謝しつつも、言葉による弊害から誤解を招く様な事がしばしば起きている事や、環境破壊の問題、AIやロボットへの見出しをつけて細かく分類した。教会が提供出来る事2つの見出し(奉仕と信仰)を付けた。同じ様な問題点の訴えもありました。

奉仕出来る事を増やす。職場での人間関係イイエス様のたとえ話を話す。祈りの必要性。病気が苦しんでいる人の為に話す。環境問題。環境破壊の問題に協力する。AIやロボットへの見出しをつけて細かく分類した。教会が提供出来る事2つの見出し(奉仕と信仰)を付けた。同じ様な問題点の訴えもありました。

今年テーマである「福音マーケット」をKJ法によるエクササイズ方式で行った。

私達は現在出来ている事を継続していく事と同じ時に司教書簡の「教会の大きな病院があるの心強い。」

2組 医療問題。教会の近くに大きな病院があるの心強い。

5組 介護。独居老人、病者の訪問、及び積極的関わり、介護制度の制約の中で、教会としての関わり。

第一部 福音マーケット(教会の現状)  
信徒と親戚。気安い。熱心。良く助けてくれる。活動が少ないが出来る限り行われている。

日本人グループ6組  
スペイン語のグループとベトナム語の8グループに分れ、夫々が教会や社会に対する悩み、問題点、また未来に対する願望などがでてきた。

それに対する教会の対応として何が提供出来るかなど、本音で語り熱気溢れる色々な意見が出て、それらを聴く事も良かったと思いがあつた。

2組 ミサの後の茶話会。高齢者が多い(智慧の活用)。カルチャーグループ活動(お花、コース等)、ピアノ教室、書道教室、各種コンサート開催。外国人対応。外国人との対話。子供達の勉強。

6組 信仰。教会で勉強会を設け、参加の声を掛ける。聖堂で一緒に祈る(口ザリオの祈り、聖体礼拝など)。開かれた教会。行事(クリスマス会、バザーなど)を通して、地域社会の人々の参加を呼びかける。現在出来ている事を継続して行く。困っている人の手助け(車の送迎、傾聴など)。外国人の方のミサ参加(朗読、共同祈願)。居場所作り(教会内)ボランテニアで日本語指導(外国人)。

第一部 福音マーケット(教会の現状)  
信徒と親戚。気安い。熱心。良く助けてくれる。活動が少ないが出来る限り行われている。

## 「新しい何か始めねば」熱心に分かち合い



付箋への書き込みに取り組む参加者

「信者の中」にドクターやナースがいる事も含む。・楽しいコミュニケーション。・二テール。・ミサの後の茶話会。高齢者が多い(智慧の活用)。カルチャーグループ活動(お花、コース等)、ピアノ教室、書道教室、各種コンサート開催。外国人対応。外国人との対話。子供達の勉強。

「信者以外の人も交えて取り組まなければ将来の教会は無くなる」と言う司教様の言葉が実感されました。

以下、各組から出てきたニーズとそこへの対応などをまとめました。

1組 家族への宣教。教会で行う宣教に通う。外国人との交流。外国人の中に信徒も入って交流を持つ。

3組 生きて行くにはたまたまのシカラムが有り、それを振り落とす(神様に差し出す)。その過程で真の信仰と愛が清められ、深められて行く。社会に開かれた教会作り。地域の人の関わりが今まで無かった事に気付いた。キリスト教と違った一般の人は、教会に心を開いていない。

6組 信仰。教会で勉強会を設け、参加の声を掛ける。聖堂で一緒に祈る(口ザリオの祈り、聖体礼拝など)。開かれた教会。行事(クリスマス会、バザーなど)を通して、地域社会の人々の参加を呼びかける。現在出来ている事を継続して行く。困っている人の手助け(車の送迎、傾聴など)。外国人の方のミサ参加(朗読、共同祈願)。居場所作り(教会内)ボランテニアで日本語指導(外国人)。



諏訪司教の講話に耳を傾ける

以下、各組から出てきたニーズとそこへの対応などをまとめました。

1組 家族への宣教。教会で行う宣教に通う。外国人との交流。外国人の中に信徒も入って交流を持つ。

3組 生きて行くにはたまたまのシカラムが有り、それを振り落とす(神様に差し出す)。その過程で真の信仰と愛が清められ、深められて行く。社会に開かれた教会作り。地域の人の関わりが今まで無かった事に気付いた。キリスト教と違った一般の人は、教会に心を開いていない。

6組 信仰。教会で勉強会を設け、参加の声を掛ける。聖堂で一緒に祈る(口ザリオの祈り、聖体礼拝など)。開かれた教会。行事(クリスマス会、バザーなど)を通して、地域社会の人々の参加を呼びかける。現在出来ている事を継続して行く。困っている人の手助け(車の送迎、傾聴など)。外国人の方のミサ参加(朗読、共同祈願)。居場所作り(教会内)ボランテニアで日本語指導(外国人)。

## ◇東讃ブロック◇

東讃ブロック教区民の集いは、10月29日に桜町教会で開催しました。

福音マーケットの作業は、日本語大人グループが7つ(各7〜8人)、子どもグループの作業、午後はそのグループ(4人と松浦神父、リダグ、心、た。

## 教会のすばらしさ発言

結果発表とミサを行いました。午前中の2時間、時間が足りなければ昼食の1時間もあわせて時間をとり、ゆっくりと分かち合いを深めることができました。

また、開会にあたってブロック長松浦神父様から、私達自身が気付かない私達の味、私達の信仰の自信に気がつくことの大切さについて、御自身の体験を交えた分かりやすい説明があり、分かち合いのヒントとして大いに役立ちました。

「ボランテニアの基地になる」「一つながる、元気になる、世界に発信できる」のような発言がありました。

最後に、会場準備や福音マーケット小物準備等、円滑な集いの運営に多大な協力をいただいた女性の会の皆様に感謝申し上げます。



力を合わせて付箋の仕訳をする参加者

外国人グループ(3人とヨゼフ神父)の計りのグループに分かれて取り組まれました。示された作業手順に従って、2つの質問の答えをKJ法で書き出し、それぞれ「現在の教会はどの方向に歩むか見えていない」「子供も忙しいです」、教

分かちあった内容をまとめました。午前中の2時間、時間が足りなければ昼食の1時間もあわせて時間をとり、ゆっくりと分かち合いを深めることができました。

最後に、会場準備や福音マーケット小物準備等、円滑な集いの運営に多大な協力をいただいた女性の会の皆様に感謝申し上げます。

最後に、会場準備や福音マーケット小物準備等、円滑な集いの運営に多大な協力をいただいた女性の会の皆様に感謝申し上げます。

## ◇徳島地区◇

11月19日に、鳴門教会で、徳島地区が教区民の集いを行いました。テーマは福音マーケットでした。42人が参加

9月と10月に鳴門、徳島、阿南、それぞれの小教区で信者が集まって話し合いを行いました。1回目は信者とその周りの人の悩みをリストアップ

しました。その後、参加した42人が4つのグループ(10人程度)に分かれた、発表された事を討議しました。12時に食事をとりました。弁当は美味しかったけど一番は鳴門の信者が作ったお味噌汁、お餅、とみかんでした。

13時から4つのグループの発表がありました。最後の発表が司教様の視点からのコメントがあって、14時からミサに入りました。

2018年には実際に、教会が持っている宝(秘跡など)と私たちの信仰を、もう一度見つめ直すことによって、私たちが提供できるものは、あふん溢るのを見えてくるのかもしれない。



司教座聖堂での各グループの発表

2018年には実際に、教会が持っている宝(秘跡など)と私たちの信仰を、もう一度見つめ直すことによって、私たちが提供できるものは、あふん溢るのを見えてくるのかもしれない。

2018年には実際に、教会が持っている宝(秘跡など)と私たちの信仰を、もう一度見つめ直すことによって、私たちが提供できるものは、あふん溢るのを見えてくるのかもしれない。

2018年には実際に、教会が持っている宝(秘跡など)と私たちの信仰を、もう一度見つめ直すことによって、私たちが提供できるものは、あふん溢るのを見えてくるのかもしれない。

2018年には実際に、教会が持っている宝(秘跡など)と私たちの信仰を、もう一度見つめ直すことによって、私たちが提供できるものは、あふん溢るのを見えてくるのかもしれない。



教区スケジュール

Table with 2 columns: Date and Event. Includes events like 1月 1日 (月) 元旦 神の母聖マリア 祭, 2月 2日 (金) 主の奉献 祝, etc.

元気いっぱい！ベトナムの教会

ヨゼフ神父のふるさとを訪ねて

1 教区事務局長 西川康廣

ベトナム最後の日 わたしたちは家族や親戚の方々に別れを告げ、ヨゼフ神父のお兄さんが連年、多クシーに乗って再びハノイへ向けて出発した。

古い教会で祈る婦人たちに感動

これまで訪ねたすべてのベトナムの教会において、うであったが、年配の婦人たちが、



ベトナムを訪ねる旅を終え帰路に就く筆者

ベトナム巡礼と訪問の振り返り

こうして私のベトナム訪問は完了した。短期間のベトナム訪問にも拘らず、無駄に時間を過ごすことがないよう、準備万端に整えてくれたヨゼフ神父に改めて心から感謝したい。

トマス小崎しのび 道後教会で版画展

道後教会では来年2月5日の日本26聖人殉教者の祝日にあわせ、2月4日(日)から、4月29日(日)まで、殉教者のひとり聖トマス小崎少年をしのぶ版画展を同教会で開く。



捕らわれた聖トマス小崎

6年、秀吉の2度目のキリシタン禁制が断行され、神父ら24人が捕縛され、大阪で小崎少年も父とともに捕われた。

翌年の1月、24人は京都、大阪の町を引き回され、厳寒の中を刑刑地の長崎まで800キロの「死の行進」

福音の喜び伝えたい



パスクアル神父

はじめて！ はじめまして！ 「はじめまして」という挨拶とともに四国で歩んでいる教会に加わりたいたいと思っ

カンバラ神父様ありがとう



聖母幼稚園の子どもたちが、聖母訪問にやって来ましたが、その時のカンバラ神父様は、両手をいっぱい

広げて、子どもたちを包み込んで、「いっしょに」と、大きな声で「はい」と迎えていました。

訃報

岡本哲男神父(ドミニコ会) 11月6日、松山聖ヨゼフ修道院にて逝去。1933年神戸生まれ。1955年聖ドミニコ修道会入会。1956年、修道誓願立。香港聖ドミニコ修道会修道院において哲学を3年間学ぶ。フィリピン・マニラ市聖トマス大学において神学修士取得。1963年、フィリピン・ケソン市聖ドミニコ修道院にて司祭職叙階。京都市立命館大学にて日本語教育学習。愛媛県松山大学にて歴史教育学習。聖ドミニコ修道会神学講師号取得。1970年、聖トマス大学にて歴史教育学習。1977年、松山聖ヨゼフ修道院にて司祭職叙階。1977年、松山聖ヨゼフ修道院にて司祭職叙階。1977年、松山聖ヨゼフ修道院にて司祭職叙階。



・聖トミニコ会会士  
・ドミニコ会士  
・聖トミニコ会の暦 聖人・福者伝

新刊書籍紹介

烏賊墨の一筋垂れて冬の弥撒



自作の俳句を織り交ぜながら、誰にでも分かるやさしい言葉で、温かく、ときに厳しく、福音を伝える前田万葉大司教。本書は、散逸していた1988年~2009年の教会報を中心にまとめた「五七五便り」のほか、講演や対談を収録。厳しい迫害、偏見に遭う中、堅く信仰を守り続けた長崎・五島列島のキリシタンの末裔である大司教が語る、貴重な一冊です。

発行 かまくら春秋社 定価1800円+税

教皇フランシスコ講話集4



2016年内の発言を集めた教皇フランシスコの講話集。ワールドユースデー・クラクフ大会閉会ミサ、マザー・テレサ列聖式ミサ、宗教改革500周年記念合同祈禱会、いつくしみの特別聖年閉年ミサでの説教や、渡航中に亡くなった難民犠牲者を追悼したレスボス島のあいさつなどを収録。

著者：教皇フランシスコ 判型A6 288P 本体価格 900円 (税込972円)



神を観想し、

聖ドミニコ宣教修道女会

私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう

暁の星学園

鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園 阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園



編集後記 典礼暦A年が終わり、B年の待降節から降誕節に移り、余すところ2週間が年間にのびます。2017年は「福音、1ケツ」に始まり、未だ道半ばにも達していません。信者の皆さんからの積極的な分かれ合いから社会と教会のあるべき交わりと関わり合いが少く、見えてくるのでしょうか。その中で教会が持っている沢山の宝を自らの宝として感謝のうちに社会と周りの人々にも提供できる恵みと力をもつて、これからも求め続けていきたいと思います。(J)